製品安全データシート

製造者情報

会社名　：株式会社エム.アイ.ディ
所在地　：福岡県久留米市通町103-3MIDビル

作成・改定　2010年10月12日

整理番号　01106-27　(1)

製品名（化学名、商品名等）
ガラス用多機能研磨剤　（ウロコ除去ハードクリーナー、ウロコ除去ソフトクリーナー）
―珪酸化ウロコ被膜除去・油膜除去・ガラスコート剤の下地処理剤―

物質の特定　単一製品・混合物の区分　：混合物
物　質　名　：（ソフトクリーナー）研磨材　酸化セリウムが主成分
（ハードクリーナー）研磨材　30～35%
成分及び含有量　：（ソフトクリーナー）添加剤（防腐、キレート、防錆、凍結防止）・・・5%
：水・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・残量
化学式又は構造式　：混合物につき記載せず
官報公示整理番号／化審法
／労安法　：（ソフトクリーナー主成分）　1-627
（ハードクリーナー）　該当せず

ＣＡＳ　Ｎｏ.　：（ソフトクリーナー主成分）　1306-38-3
（ハードクリーナー）　―
国連分類／国連番号　：該当せず（主成分）
ＰＲＴＲ法　：両製品ともに該当せず

危険有害性の要約
重要危険有害性及び影響　消防法　非危険物
GHS分類
健康に対する有害性
急性毒性（経口）　区分外
発がん性　区分1Ｂ
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）　区分１（呼吸器系）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）　区分１（肺）
ラベル要素
絵表示又はシンボル

注意喚起語　危険
危険有害性情報　発がんのおそれ
長期にわたる、又は、反復暴露により肺の障害
呼吸器への障害
注意書き〔安全対策〕
使用前に取扱説明書を入手する事。
すべての注意書きを読み理解するまで取り扱わない事。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する事。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない事。
取扱い後はよく手を洗う事。
粉じん、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

〔救急処置〕
暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受ける事。
気分が悪い時は、医師の診断、手当をうける事。
ＰＲＴＲ法　　：非該当

応急処置

目に入った場合	：直ちに水で１５分以上洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。
皮膚に触れた場合	：直ちに水で洗い流した、石鹸でよく洗い流す。刺激が続く場合は、医師の診察を受ける。汚染された衣服は良く洗い流してから着用する。
吸入した場合	：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し安静に務め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：無理に吐かせないで医師の診察を受ける。

火災時の措置

消火方法	：本製品は不燃性であり着火しないが周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。 消火作業の際には、必ず保護具を着用する。
消化剤	：本製品は不燃性であるので、周辺火災に適切な消火器を使用する。

漏出時の措置

・漏出液が少ない場合は、多量の水を用いて十分に希釈して洗い流す。
・多量の場合は、土砂、ウエス等で流れを止めて出来るだけ回収する。残分は多量の水を用いて十分に希釈して洗い流す。
・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

取扱い及び保管の注意

取扱上の注意
・眼及び皮膚に触れないようにし必要に応じて保護眼鏡、保護手袋を着用する。
・容器からの出し入れ時は、こぼれないように注意し、こぼした場合は直ちに布や洗剤で十分に取り除く。
・取扱い後は手洗い、洗顔を十分に行う。作業衣などに付着した場合は着替える。
保管上の注意
・確実に蓋をして、直射日光、高温を避け通風の良い場所に保管する。
・異物を混入させない。

暴露防止措置

管理濃度	：設定なし
許容濃度	：日本産業衛生学会（１９９４年度版）設定なし ＡＣＧＩＨ　設定なし
設備対策	：屋内作業場での使用時は、局所排気装置を設置する。 洗顔装置、安全シャワーの設置。
保護具	：必要に応じて、保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴、ゴム前掛けなどを使用する。

物理・化学的性質

[ウロコ除去ソフトクリーナー]

外観等：白色ペースト状	水溶解性：分散する	沸　点　：100℃
融　点：　0℃	吸湿性　：	蒸気密度：
蒸気圧：	臭　気　：	比　重　：
ＰＨ（25℃）：8.8		

[ウロコ除去ハードクリーナー]

外観等：淡灰色不透明液体	水溶解性：分散する	沸　点　：100℃
融　点：　0℃	揮発性　：なし	蒸気密度：
蒸気圧：	臭　気　：	比　重　：
ＰＨ（25℃）：7.5		

危険性情報　引火性：なし　　発火点　：なし　　爆発範囲：なし
危険性：可燃性なし　　安定性・反応性：通常状態で安定
その他：

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）
刺激性（皮膚、目）：軽度の刺激性を示すことがある。
急性毒性　　：データなし　　感作性　：データなし
亜急性毒性　：データなし　　がん原性：データなし　　催奇形性　：データなし
変異原生（微生物、染色体異常）：データなし　　慢性毒性　：データなし
生殖毒性　：データなし　　皮膚腐食性　：なし
その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）：なし

環境影響情報　分解性：データなし　　蓄積性　：データなし　　魚毒性　：データなし
その他：

輸送上の注意
・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。
・第一類及び第六類の危険物との混載をさける

廃棄上の注意
・産業廃棄物処理業者に委託する。
・これを含む排水は直接河川に流れ出ないようにする。
・容器を廃棄する場合は、中身を完全に使い切ってから産業廃棄物として処理する。

適用法令
消防法：非危険物　　毒物劇物取締法：該当なし
労働安全衛生法：有機物表示物質　　：
有機溶剤中毒予防規則　　：
高圧ガス取締法：　　食品衛生法　　：
船舶安全法　　：　　航　空　法　　：
水質汚濁法　　：　　大気汚染防止法：
ＰＲＴＲ法　　：
悪臭防止法　　：　　廃棄物処理法　：

引用文献
・原料メーカー製品安全データシート
・毒劇物基準関係通知集（業務公報社　1991）
・化学防災指針（日本化学会偏　1980）
・産業中毒便覧（1997）
・危険性ガス状物質（東レリサーチセンター）
・危険物ハンドブック（ギュンター・ホンメル偏）
・CHEMICAL　OF　TOXIC　OF　CHEMICAL　SUBSUTANCE
：NIOSH（1958～86　年版）
・発ガン性調査レポート（海外技術資料研究所）
・CHEMICAL　INDUSTRY　INSTITUTE　OF　TOTXICOLOGY（1991年版）
・K.　VERSCHUEREN：HANDBOOK　OF　ENVIRONMENTAL　DATA　ON
ORGANIC　CHEMICALS（1983）

その他
本データー中の記載内容は弊所の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さや安全性を保障するものではありません。
全ての化学品には未知の危険、有害性も予想されますので、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において安全な使用条件を設定くださるようにお願い申し上げます。製品データシートの内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき改定されることがあります。記載内容のうち、成分含有量、物理化学的性質などの値は品質保証値ではありません。